



KANAIWA ONO
ART PROJECT

金石スタジオ 通信

3

金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)。その活動の拠点となっている金石スタジオ(金石松前町1番16号)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

PP
パブリック・
プログラム

地域

コーディネーター

金石大野芸術計画を振り返る

地域コーディネーターの河合紗那です。二〇一八年に自治区AIR金石大野芸術計画が始まり、三年が経ちました。当時からみたら、良いも悪いも世の中がガラッと変わりました。皆さんはどうでしたか。私はまちについてじっくりと考える時間になりました。今回は金沢21世紀美術館の活動の振り返りとも、私の気づきをお話ししたいと思います。

はじめしての方もいらっしゃるのので改めて自己紹介を。私は金石出身で、約三〇年この土地で暮らしています。幼稚園〜小学校〜中学校まで、しっかり海風に採まれ成長しました。会社勤めをし



ていたときに、ある地域の地域活性化の事業に関わり、まぢづくりに興味を持ち地元金石でも何かできないかと悶々としていたところ、目に飛び込んだのが金沢21世紀美術館が活動するというチラシでした。「なんで？金石？」と思ったのは私だけではないはず！これは参加しないと分からないことで、金石スタジオに通うようになりまし。美術館のスタッフと顔見知りになった頃に機会をいた

だき週末コンテナ(空いたコンテナを活用した駄菓子屋)をして、そこからスタジオを利用して、そこから交流がはじまりました。その後、二〇二〇年に地域コーディネーターに着任しました。

地域コーディネーターの仕事

そもそも地域コーディネーターって何してるの？とよく聞かれます。金石大野芸術計画は「アーティスト・イン・レジデンス(アーティストが滞在し作品を作る)」と「パブリック・プログラム(金石スタジオを拠点に地域の方と活動する)」があります。アーティストが作品を作る前に地域の調査を行う時は、求めている情報を伝え、人を紹介し、展示場所を探す等します。また地域内外の方が集まるようなイベントを行ったり、その中で「〇〇をしたい」という人が現れれば実行できるようにサポートをします。

アーティストの作品は「魅力のカケラ」

これまでに田口行弘&キアラ・チッカレッコ、ムン・キョンウォン&ジョン・ジュンホ、魚住哲宏+魚住紀代美、Co.山田うん、村上慧など多くのアーティストが作品を作りました。はじめは右も左も分からない状態でまぢに入るのですが、その後凄まじい速さで地理や歴史や文化、コミュニティの形成をします。時には地元民でも知らないことまで知っているほど、探究心と鋭い感覚には毎回驚かされます。国内外問わず活躍するアーティストたちは地域の魅力を見つけるのも上手い、「まち並みが綺麗/港町の風情が残っている/人が温かい/静か/海が壮大など」地元からすると当たり前のことに価値を見出します。そうしてできた作品はどこか懐かしく新しい、見落としていたまちの魅力がそこにはありません。

田口行弘&キアラ・チッカレッコの作品は

濱辺で行うプロジェクトでした。目的を持って浜辺に行ったのは十数年ぶり、海のあるまちに暮らしながらそこに距離がで



ていることに気づきました。目線を変えてまちを歩くと知らない風景や発見があり、まるで「魅力のカケラ」を拾い集めているような気分になりました。

データで見る金石のまち

作品で表現する人もいれば数字で見る人もいます。富山大学の学生有原千尋さん(二〇二〇年当時)は金石大野芸術計画が地域にどのような変化をもたらしているか調べました。結果、アーティストや作品に触れる「芸術的体験」、新たな人との繋がりを得るなど「社会的体験」の効果があることがわかりました。アーティストが当たり前のように近所を歩いている、スーパーで買い物もするし、

うどんを食べに行くことだ
である。人との繋がりから自
然な流れでアートを体感する
ことになったんだと思いま
す。近所で顔見知りになった
人がまちで展示をすると聞け
ば気になって見にいけますよ
ね。

東京理科大学伊藤香織研究
室は「あなたのまちの使い方」
と題し、金石にゆかりのある
方から幼少期の遊び場や現在
の町の使い方などを聞き取り
ました。遊び場は五〇代以上
は海岸・寺社・街路、四〇代
以下は公園・商店でした。そ
んな中、年代問わず遊び場と
してあげられた日和山（現：
大野湊神社夏季大祭社殿地）
、秋葉神社周辺は、お祭りで
行く馴染みのある場所とい



のも関係していそうです。現
役世代と遊び場が一緒という
ことに驚き半分、嬉しき半分。
共通点があるって良いもので
すね。このように曖昧なこと
が明確になることで、次の課
題が見えて来ます。調査報告
会では参加者の皆さんと座談
会を行いました。大学生が感
じた金石の印象「独特な雰
囲気（格式が高い・昔の空気が
残っている・静か・落ち着い
ている）」やポテンシャルに
ついて話し、これからの金石
についてはそれぞれの考えを
出し合い盛り上がりました。
最近是对話する機会が減って
いましたが、このようにざっ
くばらんに話せる場所が必要
だと改めて感じました。皆さ
ん驚くほどに地域に対して熱
い想いがあるんですよ、その
想いや原動力って何からきて
いるのでしょうか。

**活動拠点を金石スタジオから
まち中へ**

二〇二一年夏に金石の商店
街の空き店舗でアーティスト
が活動するかわね楽座を行
いました。賑やかしを作る為
のものでもなく、地域の人た
ちが『街のこれまでとこれか
らについて、考える場』とい
うメッセージも込められてい

ます。近所の方はもちろん、
地域の方が町外のお友達を連
れてきたりと人が人を呼び寄
せる光景が見られ、それぞれ
のやり方でかわね楽座に
参加していると感じました。
一ヶ月間の会期を終え、皆さ
んはどのような感想を持ちま
したか。私のところには「町
に活気があってよかった。ま
たやって欲しい」という声掛
けを多数いただきました。受
け入れていただけたという感
謝の気持ちとともに、今地域
の皆さんが求めているものは
何か考えるようになりました。
た。よく「まちが淋しくなっ
た」と聞くことがあります。
なぜ淋しく感じるのでしょうか。
か。お店が減ったから？子供
が外で遊んでないから？近所
付き合いが少なくなっただか
ら？それぞれに原因はありま
す。ではその「淋しいまち」
をどうしていきたいですか。
あなたの気づきや行動一つで
何かを変えられるかもしれま
せん。一緒に考えてみませ
んか。

未来の楽しいコト探し

金沢21世紀美術館の活動か
ら、外と内の視点で金石大野
を見ることができました。魅
力の発見とともに、これから

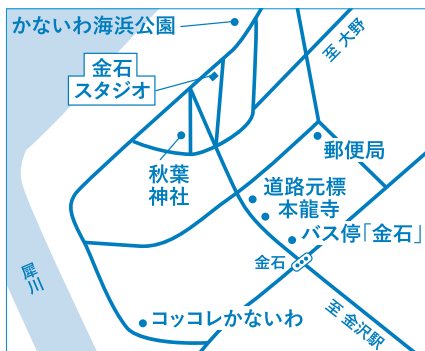


の課題が見えてきたように思
います。目の前にある課題が
どんなに小さなものでも、そ
れを見つめる感覚を持ち合わ
せていることは素敵なことだ
と思います。見方を変えれば
答えが見つかるかもしれませ
ん。分からない時は人に相談
したらヒントをもらえるかも
しれません。思っている以上
に周囲の人は助けてくれます
よ。（私はいつも助けられっ
ぱなしです笑）このまちで
暮らしていくのだから、昨日
よりも今日が楽しく過ごせる
ように。楽しい人が増えれば
楽しいコトも増えますよ。み
んなで素敵なまちをつくって
いきましょう。（河合紗那、
地域コーディネーター）

金石スタジオ

金石松前町1番16号

バス停「金石」から歩いて5
分、海岸通り沿いです。公共
交通機関や徒歩、自転車など
をご利用ください。
スタッフ常駐は、毎週土曜の
14時〜17時です。



金石スタジオ
情報発信中
Instagram
facebook